水産物の市況について(令和6年10月及び令和6年11月)

―東京都中央卸売市場における令和6年10月(令和6年9月21日~令和6年10月20日集計)の市況と、 令和6年11月の市況見通し(前月との比較)―

Ι 令和6年10月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、前月からや や増加で推移し、前年同月比では横ばいで推移しました。卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり 平均価格)は、前月からやや弱含みで推移し、前年同月比でも弱含みで推移しました。

Ⅱ 令和6年11月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

10月末で道東沖のまき網漁が終漁し、産地の水揚量が減少することから、東京への入荷量は減少し、卸売価格は強含みで推移すると見込まれます。

「さけ類(塩蔵品・冷凍品)」

東京への入荷量はチリ産銀ざけ主体に横ばい、卸売価格はチリ産銀ざけの内販価格の上昇 は落ち着いたものの、さけ類全般が高値で推移していることから、高値・横ばいで推移すると 見込まれます。

「さば(生鮮品)」

水温の低下に伴い、三陸~常磐沖の漁獲が上向くと予想され、東京への入荷量は増加し、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

全国的に低調な水揚げが続くと予想され、生鮮物の東京への入荷量はやや減少し、卸売価格はやや強含みで推移すると見込まれます。

冷凍物は、入荷量は少なく・横ばい、卸売価格は高値・横ばいで推移すると見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

山陰や九州を中心とした水揚げが続くとみられ、東京への入荷量は横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

東京への入荷量は全体では横ばい、卸売価格も横ばいで推移すると見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

水揚げの主体である三陸沖のかつお近海竿釣漁の終漁が近いことから、東京への入荷量は減少し、卸売価格は強含みで推移すると見込まれます。

「さんま(生鮮品)」

引き続き道東・三陸で水揚げは続くものの、水揚量は徐々に減少するとみられ、東京への入荷量はやや減少し、需要が低下することから、卸売価格はやや弱含みで推移すると見込まれます。

凡例(目安)

, - , - , - , - , ,		
増減率	入荷量	卸売価格
0~ 2 %	横ばい	横ばい
3 ~ 10	やや増加(減少)	やや強(弱)含み
11~20	増加(減少)	強(弱)含み
21~50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含み
51 ~	大幅に増加(減少)	_

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

		10月		前月		前々月	
		入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
	6年	28	1,399	26	1,465	24	1,545
	前年	27	1,456	27	1,446	24	1,520

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	10月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
まいわし(生鮮品)	585	101	120	131
さけ類(平均)	1,259	97	104	120
(ぎんざけ塩蔵品)	1,183	92	100	113
(あきさけ塩蔵品)	1,322	106	124	138
(べにざけ塩蔵品)	1,490	100	99	107
(さけ類冷凍品)	1,265	98	104	123
さば(生鮮品)	567	102	96	108
するめいか(平均)	1,255	90	107	132
(生鮮品)	1,153	91	103	120
(冷凍品)	1,949	100	124	217
あじ(生鮮品)	696	104	108	114
まぐろ(冷凍品)	1,476	87	87	91
(めばち冷凍品)	1,112	100	103	97
(きはだ冷凍品)	897	81	90	92
(くろまぐろ冷凍品)	3,618	108	111	109
(みなみまぐろ冷凍品)	2,010	98	89	96
かつお(生鮮品)	562	91	84	83
さんま(生鮮品)	869	70	63	88

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:10月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは令和元年~令和5年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班

代表 03-3502-8111 内線 6618 中島、山﨑 直通 03-3591-5613